

ミニ電気自動車レース

大館桂枝高が逆転V

横手市雄物川町

高校生が製作したミニ電気自動車のレースが、横手市雄物川町の雄物川河川公園で開



スタートするミニ電気自動車

かれた。秋田工、大館桂枝、大曲工、男鹿工、横手清陵から計7台が参加、1周約1・4分のコースを1時間走り続け、周回数を競った。

レース当日の17日は時折小雨に見舞われたが暑さは例年ほど厳しくなく、風は穏やかに上々のコンディション。空気抵抗を減らすため車体に傾斜を付けるなど工夫を凝らしたマシンが午後0時半、一声にスタートした。

当初3位だった大館桂枝の「モニユメント」が序盤に前の2台を追い抜き、そのままトップを維持し、18周して優勝した。ドライバーの畠山大幹さん(3年)は「カーブでは慎重に減速し、直線では思い切り走った。後半に一度、水たまりに入ってしまったが影響のないままゴールできて良かった」と話した。2位は「秋エレーシング1」(秋田工)、3位は「秋エレーシング2」(同)だった。

ものづくりや環境問題の教育を目的に2011年に始まり11回目。県内の高校教員や製造業者らでつくるNPO法人ソーシャレック(横手市)を中心とした組織委員会が主催した。(菅原潤)